

「南ぬ島石垣空港開港」に沸く石垣島

ANAの空の旅がちよっぴり楽しくなる。現地で働くANAスタッフが、旅のお薦め情報を株主・投資家の皆様にご紹介します。今回は石垣島からのレポートです。



2013年3月、念願の南ぬ島石垣空港が開港

石垣島(沖縄県石垣市)は八重山諸島の一つで、島の一部が西表石垣国立公園に指定されており、周囲をサンゴ礁で囲まれた大変美しい島です。東京からは2,000km、大阪からは1,600km、那覇からは430kmの距離にあり、石垣島の人々にとって航空は重要な交通手段となっています。

旧石垣空港は滑走路が短く、離着陸が小型機に限られていたため、客席数や貨物搭載量に制限があり、石垣から羽田や関西に向かう便は搭載す



南ぬ島石垣空港

る燃料の量が制限されてしまい、宮古や那覇に着陸して給油する必要があるなど、とても不便な状態が続いていました。

八重山地方の産業・観光の発展には、東京・大阪など大都市からの直行便増便と、旅客数や貨物重量の増加が不可欠なため、中型機が離着陸できる2,000m級の滑走路が必要との判断で、2006年10月20日に着工し、念願の新空港、「南ぬ島石垣空港」が2013年3月7日に開港しました。



魅力は美しい自然

一番の観光スポットは日本百景にも選ばれている川平湾です。

潮の干満や太陽の光

によって刻々と

変化する海の色

に心を打たれます。

遊泳は

禁止ですが、

グラスボートで海

の中の美しい

サンゴを観察す

ることができ、

黒蝶真珠の

養殖場所としても

有名です。

また、夕日を見る

なら御神崎灯台。

空港から西に車で約25分の

玉取崎展望台

では最高の眺めを

味わうことができます。

遊歩道にはハイビスカスをはじめ

め色とりどりの花が咲き、

展望台に登れば目の前には

サンゴ礁に囲まれたエメラルド

グリーンの海が広がり、

石垣島の最北端

平久保半島の美しい風景

やリーフの内と外の

コントラストをはっきりと

見ることができます。

また、夕日を見るなら

御神崎灯台。空港から

西に車で約25分の玉取崎

展望台では最高の眺めを

味わうことができます。



所にあります。美しいセットが見られるポイントとして知られています。白い灯台の中に入るとはできませんが、灯台の麓まで階段で上がると、素晴らしい絶景を楽しむことができます。また春先には周辺に、白いテッポウユリが咲き乱れます。

空港から北東に車で約40分の玉取崎展望台では最高の眺めを味わうことができます。遊歩道にはハイビスカスをはじめめ色とりどりの花が咲き、展望台に登れば目の前にはサンゴ礁に囲まれたエメラルドグリーンの海が広がり、石垣島の最北端平久保半島の美しい風景やリーフの内と外のコントラストをはっきりと見ることができます。

また、夕日を見るなら御神崎灯台。空港から西に車で約25分の玉取崎展望台では最高の眺めを味わうことができます。遊歩道にはハイビスカスをはじめめ色とりどりの花が咲き、展望台に登れば目の前にはサンゴ礁に囲まれたエメラルドグリーンの海が広がり、石垣島の最北端平久保半島の美しい風景やリーフの内と外のコントラストをはっきりと見ることができます。



石垣島の中心街は、730交差点が目印
「730」は、沖縄が本土に復帰して6年後の1978年7月30日に行われた、車が



右側通行から左側通行に一齐に変わった歴史的な日を指しています。同年9月に「730記念碑」が建立されました。そして30年後の2008年7月30日には、交通安全を祈念して獅子を置き、碑の周辺が憩いのある小公園として整備されました。

魚屋はてんぷらを売る店?

石垣島では魚屋のことをなぜか「さしみ屋」と呼び、ほとんどの店でてんぷらを売っています。種類は魚、イカ、野菜が定番です。300円くらいから買えるので、いろいろなさしみ屋さんのてんぷらを食べて比べてみてはいかがでしょうか。

また、石垣島ならではの八重山そばは肉系だしで、しっかりした味付けです。牛そばは意外とあっさりしていますが、牛の旨味が堪能できます。「パーラーあんぷれら」



定番の魚、イカ、野菜のてんぷら



パーラーあんぷれら

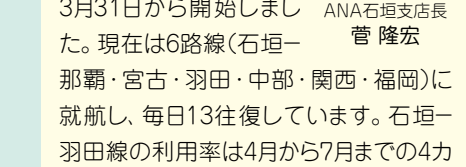
はお昼時には地元の人でいっぱいです。静かに時を過ごしたい方には、石垣市街地中心部のユーグレナモールにある「Kassi's Bar(カッシーズバー)」が隠れ家的存在でおすすめ。店内は外の喧騒からは想像できないほど静かで、穏やかな時が流れています。石垣島には珍しく日本各地の日本酒が楽しめるほか、ワインも充実しています。オーナーの笑顔にも癒されますよ。



鹿志村 勝也オーナー(右) 営業時間 20:00~翌5:00 kassizbarisigaki.uijin.com

スタッフからのコメント

ANAは八重山の皆様が待ちに待った中型機「ボーイング767型機」による羽田-石垣線の運航を3月31日から開始しました。現在は6路線(石垣-那覇・宮古・羽田・中部・関西・福岡)に就航し、毎日13往復しています。石垣-羽田線の利用率は4月から7月までの4カ月間で84.5%と好調を維持し、石垣-那覇線、石垣-中部線も70%を超え、さらには運航を再開した石垣-福岡線も74.1%を記録するなど、ANAの八重山でのプレゼンスは、ますます高まっています。皆さん、新空港開港で盛り上がる日本一元気な島、魅力満載の石垣島にぜひANA便でお越しください。心よりお待ちしております。



ANA石垣支店長 菅 隆宏